



# ひがし

伊達市立東小学校  
令和3年8月26日  
第6号



## 「世界遺産（国指定史跡北黄金貝塚）」のある学校！

～「地域で学び 地域に学ぶ」地域総がかりの教育の具現化に向けて～

学校長 菅澤 秀信

8月25日（水）現在、胆振管内での新型コロナウイルスの新規感染者が15人、道内は2日連続で感染者が500人を下回ったものの、管内は14日連続で2桁の新規感染者が確認される等感染拡大に歯止めがかかりません。本校でも夏休み期間中保護者・地域の皆様と一体となって、「油断せず、気を抜かず」マスクの着用等基本的な感染防止対策を徹底していただきました。心より感謝申し上げます。

2学期も本校は、感染力の強いデルタ株が全国的に感染拡大している等を踏まえ、「三つの密（密閉・密集・密接）の1つの密でも徹底回避」「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗い等の手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策を、保護者・地域の皆様と一体となって、「地域の子どもは、地域で守り育てる」取り組みの具現化に向けて、着実に取り組みを継続していきます。「学校の新しい生活様式」の一層の定着に向けて、家庭・地域と一層連携協力して、しっかりと実行できるようにしなければなりません。毎日の健康観察記録（児童本人及び家族の発熱等風邪症状の有無）や、朝・夜の検温等のご協力をお願いしなければなりません。子どもの命を守る取り組みです。保護者・地域の皆様の一層のご理解とご協力をお願い致します。

本校は、明治5年に創立された官立有珠郷学校から、明治40年4月に東紋鼈尋常小学校として独立し、来年令和4年には創立150周年を迎えます。道内で1番の歴史と伝統をもつ学校です。また、7月27日に「世界遺産（北黄金貝塚）登録」が決定しました。しかも、道内初の世界文化遺産です。これで、地域とともに創り上げてきた象徴であり、誇りである東小学校に「世界文化遺産（北黄金貝塚）」がある学校になり、東小学校の自慢できるものがまた一つ加わりました。

私は、学校教育の中に『飛び出せ学校』の発想で、子どもの学びの場の拡充を図っております。それは子どもにとっての学ぶ場は、狭い教室だけでなくこの伊達の地域全体が学び舎という発想です。幸いこの地は自然、人、文化、歴史等の条件が整っています。今、子ども達の世界ではテレビやスマホ等の疑似体験が多くなり、本物や実物に触れながら、人間が本来持っている五感（視覚・聴覚・味覚・臭覚・触覚）を磨く機会が少なくなっていると考えます。子ども達が直接に自分の五感を使い、見たり聞いたり触れたりする中で学ぶことは、脚本のないその子の最も心の奥に潜んでいる感動や感激を呼び起こすはずです。こうした子ども達の教育活動を一層充実していく観点から、学校運営協議会と協働で東小スタイルの「だて学」を創造しています。

本校の自慢できる「だて学」に「北黄金貝塚体験学習」や「亘理小学校との交流学习」等を加えて授業を創造しております。しかし、「亘理小学校との訪問事業」が新型コロナウイルスの全国的な感染急増を受け、2年連続で訪問事業の中止を余儀なくされましたが、子ども達の学びを止めるわけにはいきません。「子ども達の心の交流」は続けております。今年度はICT環境が整ったこともあり、「世界文化遺産（北黄金貝塚）の体験学習」を含む「東小学校スタイルのだて学」をリモートで、来月9月に「亘理小学校との交流授業」を行います。タブレット PC等を活用し、学校の壁を越え、「亘理小学校のお友達との交流学习」において、子ども同士による意見交換や発表等お互いを高め合う学びを通して、思考力、判断力、表現力を育成します。

人の感動や感激、心の動きは全くその子どもの固有のものです。私達は子どもの学習活動の中で「このように感動し、感激するものです」という仕方は教えることはできませんが、感動や感激を磨く機会や「場づくり」はできると考えています。学校運営協議会の皆様と協働して、意識的にこのような機会や場をたくさん創造して、さらに心豊かな子どもを育てたいと考えています。



## 運動会について

当初 6 月予定の運動会でしたが、5 月末の緊急事態宣言発令と胆振での感染者増加により、9 月 11 日に延期の措置を取らせていただいていた。

運動会は、練習も含めて様々な取組や活動を通して、力を発揮する喜び、助け合いや協働することの素晴らしさ、集団行動の楽しさ、思いやりの大切さ等、多くの経験と学びが期待できる行事として子どもたちも楽しみにしています。また、保護者の皆様におかれましても、お子様の成長を感じられる機会として期待されていることと思います。

学校としては、北海道がまん延防止等重点措置対象となり、感染防止対策を一層強化して、種目内容や距離の確保などを考え、実施に向けて準備を進めてきました。

しかし、現在はデルタ株の全国的な流行により、北海道の感染者増加が止まらない状況です。胆振でもクラスターが発生したり、学級閉鎖の措置が取られたりしています。また、緊急事態宣言の発表もあり、運動会の持ち方についても再度検討していかなければならない状況です。

従来の東小運動会であれば、1200 人ほどの規模になります。もしも、感染およびクラスターが発生すると、医療機関をはじめ市内の各機関に大きな影響を及ぼします。

そのような状況の中、何より子どもたちの安全を優先して進めていく必要があります。今後、関係機関やPTA 常任委員会での協議を進めながら、実施について検討していきます。場合によっては、大きく変更しなくてはならない可能性もありますが、状況をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

## 生活リズムチェックシートの取組

夏季休業明けの生活習慣確立に向けた生活リズムチェックの取組とお子様への一言の記入、ありがとうございました。家庭での生活が、子どもたちが安定した学校生活を送るための土台になります。早寝・早起き・朝ご飯をはじめ、今後も家庭での生活を見ていただきますようよろしくお願いいたします。

## 感染対策について

これまでも様々ご協力をいただき、ありがとうございます。シートによる健康観察も含め、2 学期もよろしくお願いいたします。

学校では改めて、「鼻と顎を隠すマスクの着用」「距離を意識し極力接触を避ける」「登下校や放課後のマスク着用と 3 密回避」「手洗い」「個人の物を共用(貸し借り)しない」ことを指導しています。ご家庭でも、お子さんへの働きかけやマスクサイズの確認をお願いいたします。

## 夏休み作品展

今年も、子どもたちが夏休み中に取り組んできた自由研究や工作が展示されています。学年に応じた様々な工夫があり、どの作品も見応えがあります。各教室前廊下も含め、全作品が展示され、子どもたちは、友達や他の学年の作品を興味津々に見てまわっています。



## 宮城県巨理小学校との交流

長年交流を重ねている姉妹校の巨理小学校との訪問事業が、コロナウイルス感染症のために、昨年度に続き、残念ながら中止となりました。

訪問することはできませんが、GIGA スクール構想による端末整備により、タブレットを用いたオンライン交流を計画しています。4～6年生、学年ごとに学習や地域のことなどをテーマに実施していく予定です。

東小では、ベルマーク、テトラパック、プリンターのインク(エプソン、キャノン)の回収を行っています。たくさん集めると、運動会で使用するテント等と交換できます。ご家庭にありましたら、ぜひ学校までお願いいたします。